



vol.34

取引先や近隣住民の 不用品を格安で販売。 赤十字や被災地に寄付

松井産業(株) (埼玉県三郷市)

創業95年、埼玉県三郷市を中心に注文住宅、リフォーム、売買・賃貸仲介を手掛ける松井産業(株) (埼玉県三郷市、代表取締役社長：松井宏之氏)。同社は2000年より不用品などを集めて格安で販売するチャリティバザー「掘り出し市」を開催し、売り上げを全額赤十字や災害被災地に寄付する活動を行なっている。

毎回3,000～4,000点を用意し、
1点10円から100円で販売

「掘り出し市」は、もとは同社が事業を行なう中で仕入れた木材や釘、ブロック、塗料といった資材の在庫一掃セールとしてスタートした。「会社に保管しておいても使い道がない。それなら皆さんに安価で譲って、喜んで使っていただくという考えで始めました」(同社専務取締役・松井健司氏)。この催しにより利益計上する考えは毛頭なく、50円、100円といった価格に設定したところ、飛ぶように売れたそう。その後、資材に加え取引先や顧客、近隣居住者、従業員に協力を呼びかけ、使わない日用品や学用品、農家から米や野菜なども提供してもらい、バザーとして開催する形に発展した。

バザーでは、毎回3,000～4,000点ほどの物品を揃える。売値を10～100円と格安に設定していることもあり、今では開始前には長蛇の列ができ、延べ500～600人が参加する地域恒例のイベントとして定着した。



松井産業(株)
専務取締役
松井健司氏



日用品や野菜など、100円以下に価格設定して販売。毎年来場する人も多いという(写真提供：松井産業(株))

不用品の集まりがいまひとつの時には、社員総出で近隣や取引先を回って協力をお願いします。「われわれにとってこのイベントは、以前住宅を引き渡したお客さまやお世話になっている地域の人たちと楽しく言葉を交わせる貴重な場でもあります。その場を盛り上げるためにも、皆、力を合わせてお願いに回っています」(同氏)。

例年、売り上げは10万～20万円ほどになり、それを地元の社会福祉協議会を通じて寄付している。東日本大震災が発生した11年には、義援金として被災地に寄付をした。

「取り組みを重ねることで、地域の方がいつでも気軽に足を運べる会社にしていけたら、さらに嬉しいですね」(同氏)。